

■米国：卸売市場でのデマンドレスポンスの扱いについて法定闘争へ

電力供給事業者協会（EPSA）をはじめとした電気事業者団体 3 社は 2012 年 6 月 13 日、連邦エネルギー規制委員会（FERC）によって 2011 年 3 月に発令された、卸売市場におけるデマンドレスポンスの支払方法に関する規則（オーダー745）が、需要を抑制しようとする需要家への過剰なインセンティブを与える制度であるとし、控訴裁判所に規則の無効化を求める提訴を行った。本規則は、卸電力価格が一定の価格を超えた場合に、デマンドレスポンスを供給力と同一とみなし、デマンドレスポンス提供者に対し地点別限界価格（LMP）での支払いを行うという規則である。EPSA は請願書の中で、需要抑制へのインセンティブが高まれば、需要家は生産活動を停止する、もしくは、環境負荷の大きい自家発電設備を起動することが想定され、社会的コストの増大につながると主張している。